dataTAMA データ多摩 ●vol.38

『緑の風』編集部

多摩地域の将来推計人口（2015～2045年）

データについて

2018年3月30日に、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）が、『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』を公表しました。これは、2015年10月の国勢調査人口をもとにした将来推計人口で、全国の市町村と、東京23区および政令指定都市の区の人口が、2045年までどう変化するかを5年ごとに推計したものです。ただし福島県は原発事故の影響により基礎自治体ごとの計算が困難なことから、県単位のみでの推計となっています。こんなところにも原発事故の甚大な影響が出ています。

推計方法は、地域ごとにコーホート要因法によって計算したものを、全国の推計で補正したものです。詳しくは社人研のサイト上にある同推計の「概要」に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

今回掲載する表は、多摩30市町村については、この調査による自治体ごとの結果で、多摩地域計、23区計、島しょ計はそれをもとに編集部で計算したものです。

推計結果について
（1）全国及び東京都との比較

日本の人口は2008年をピークに減少し始めています。都道府県別でみても、2010年から2015年の間に、39道府県で減少しています。その中で東京都はまだ増加傾向にあり、今回も東京都計で2030年まで増加という予測が出ています。ちなみに、2030年まで増加という都道府県は、東京と沖縄のみとなっています。

今までも東京一極集中の結果、様々な弊害が起きてきたことを考えると、この増加はあまり喜ぶべきことではないかもしれませんが、23区計を見ると2035年まで増加、多摩地域計では2020年以後に減少局面に入るというのが今回の推計です。

2045年の指数を見ると、23区104.6、都計100.7、多摩計92.2、全国83.7となっており、都心への集中と地方の人口減という歪みは、現在の傾向に歯止めがかからなければ、今後一層顕著になるといえます。

2045年の予測人口で考えてみると、全国の1億642万人（高齢化率＝全人口のうち、65歳以上の占める割合は36.8%）というのは、1971年の総人口1億515万人に近いですが、その前年（1970年）の高齢化率が7.1%だったことを考えれば、人口構成の大幅な変化は明ら

かです。ちなみに、2045年多摩計の388万人（高齢化率35.2%）という数字は、2000年の390万人より少し少ない程度の人口、ということになりますが、当時の高齢化率が14.6%ですので、高齢者人口は倍以上になるという予測です。

人口減少そのものが問題なのではなく、東京一極集中や、子どもを産みたいと思っているのに産めない形で進む少子化に歯止めがかからないこと、その結果起こる高齢化率の上昇への対応や人口の減った社会への仕組みづくりができるか否かが問題なのです。

そのことをふまえて高齢化率を詳しく見てみます。表にはありませんが、2045年にはすべての都道府県で高齢化率が3割を超え、最高の秋田県では50.1%という推計値です。都内の数値を見ると、2015年→2045年（b-a）で23区が6.9ポイントの増加なのに対し、多摩地域全体では11.0ポイント増加となっています。多摩地域の増加のスピードは全国（10.2ポイント）よりも高くなる予測ですので、このスピードに対応する仕組みをどうするか、ということが大事な課題となるでしょう。

(2) 多摩地域内のポイント

推計はあくまで推計ですので、この数字に一喜一憂する必要はないとも言えますが、一定の傾向を表し、このままだとこういう方向で進む、ということを表しています。多摩地域30市町村を見たとき、2020年までに減少という推計が出ているのが、半分の15市町村です。2045年まで指数100以上を保つ予測が、数値の高い順に三鷹、調布、小金井、稲城、狛江の5市。指数80以下と大幅な減少が予測されるのが、青梅、福生、羽村、檜原、奥多摩となっています。23区への集中が進むであろう状況では、当然ながら23区に近い自治体の方が減少が少なく、都心から離れている自治体の方が人口減が大きくなります。あらためて、東京都にありながら、多摩地域においても東京（都心）一極集中の歪みが大きな影響を及ぼす局面に入っていることがわかります。

また、高齢化率を見ると、多摩計では2015年実績値も2045年予測値も、全国よりはやや低くなっています。その中で、2015年段階において26.6%という全国よりも高齢化が進んでいるのは、数値の高い順に奥多摩、檜原、日の出、青梅、あきる野、清瀬、東久留米、福生の8市町村となっています。これが2045年段階では、全国よりも高くなる推計が12市町村となっています。市部でも40%を超える推計が、青梅、福生、多摩で出ています。

かつてない高齢化社会の時代へどう対応していくか、という自治の力が問われるとともに、大きな視点で、全国的に協力しながら、成熟した持続可能な地域をどう作っていくか、ということも課題となっています。

※data多摩、vol.31（2017年3月号）「国勢調査から見る多摩地域の人口と姿」、vol.32（4月号）「多摩30市町村の近年の人口増減の傾向、高齢化率、（参考）社人研推計とのズレ」に、人口及び人口推計のデータが出ていますので、そちらもあわせてご参照ください。

多摩地域の将来推計人口（2015～2045年）

2015年は国勢調査による実績値。指数は2015年の実人口を100とした時の割合。

		2015年		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
		実人口		指数	指数	指数	指数	指数	指数
1	八王子市	577,513		98.9	96.8	94.0	90.8	87.4	83.9
2	立川市	176,295		100.6	100.6	100.2	99.3	98.1	96.4
3	武蔵野市	144,730		99.8	99.5	99.1	98.3	97.0	95.4
4	三鷹市	186,936		102.2	103.7	104.5	104.8	104.5	103.7
5	青梅市	137,381		97.6	94.5	90.9	86.9	82.6	78.1
6	府中市	260,274		101.3	101.7	101.4	100.8	99.6	98.1
7	昭島市	111,539		98.6	96.6	94.2	91.4	88.5	85.5
8	調布市	229,061		102.9	103.7	104.0	103.9	103.2	102.0
9	町田市	432,348		100.2	99.1	97.1	94.7	92.2	89.7
10	小金井市	121,396		101.8	102.7	103.1	103.0	102.2	100.7
11	小平市	190,005		100.8	100.6	100.2	99.3	98.1	96.4
12	日野市	186,283		102.2	103.0	102.8	101.9	100.5	98.7
13	東村山市	149,956		97.2	97.1	96.6	96.1	95.4	94.5
14	国分寺市	122,742		101.3	101.5	101.3	100.6	99.4	97.8
15	国立市	73,655		100.8	101.1	101.2	100.9	100.0	98.5
16	福生市	58,395		93.7	87.2	80.6	73.7	66.9	60.3
17	狛江市	80,249		101.3	101.7	101.8	101.6	100.9	100.0
18	東大和市	85,157		101.2	101.3	100.6	99.5	98.2	96.7
19	清瀬市	74,864		100.3	99.4	98.1	96.7	95.3	93.8
20	東久留米市	116,632		99.3	97.6	95.7	93.8	91.9	90.0
21	武蔵村山市	71,229		99.8	98.4	96.2	93.8	91.5	89.3
22	多摩市	146,631		98.8	96.7	93.6	90.2	86.7	83.4
23	稲城市	87,636		102.3	103.3	103.5	102.9	102.0	100.7
24	羽村市	55,833		96.7	92.6	88.1	83.3	78.4	73.6
25	あきる野市	80,954		98.6	96.2	93.3	90.0	86.9	84.0
26	西東京市	200,012		101.1	101.5	101.4	101.0	100.1	98.8
27	瑞穂町	33,445		98.3	95.5	92.2	88.4	84.4	80.2
28	日の出町	17,446		97.6	96.3	94.3	92.0	89.8	88.1
29	檜原村	2,209		86.6	74.9	64.0	54.3	45.5	37.6
30	奥多摩町	5,234		85.8	72.6	60.7	50.2	41.1	33.2
	多摩地域計	4,216,040		100.1	99.4	98.1	96.4	94.4	92.2
	23区計	9,272,740		102.3	103.9	104.9	105.3	105.2	104.6
	島しょ計	26,491		92.6	85.7	79.3	73.2	67.8	63.0
	東京都計	13,515,271		101.6	102.4	102.7	102.5	101.8	100.7
	全国	127,094,745		98.6	96.4	93.7	90.7	87.3	83.7

データ出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年推計）』
出生中位・死亡中位仮定

高齢人口割合

2045年 指数順位	2045年 予測人口	2015年 実績値 a	2045年 予測値 b	増加 (ポイント) b-a		
23	484,514	25.0	38.6	13.5	1	八王子市
12	169,948	25.2	35.6	10.4	2	立川市
14	138,105	21.7	31.5	9.9	3	武蔵野市
1	193,837	21.2	32.3	11.1	4	三鷹市
26	107,329	28.1	44.5	16.3	5	青梅市
9	255,272	20.8	31.3	10.4	6	府中市
21	95,417	24.8	35.3	10.6	7	昭島市
2	233,665	21.3	30.8	9.5	8	調布市
18	387,600	25.6	38.6	13.0	9	町田市
3	122,267	20.4	29.0	8.6	10	小金井市
13	183,145	22.4	31.1	8.7	11	小平市
7	183,903	24.0	34.1	10.1	12	日野市
15	141,693	25.9	35.5	9.6	13	東村山市
10	119,984	21.3	30.8	9.6	14	国分寺市
8	72,580	22.1	32.0	9.9	15	国立市
28	35,227	26.8	47.5	20.7	16	福生市
5	80,267	24.1	32.3	8.1	17	狛江市
11	82,368	25.4	34.6	9.2	18	東大和市
16	70,225	27.9	37.6	9.7	19	清瀬市
17	104,950	27.0	36.5	9.5	20	東久留米市
19	63,590	24.9	35.2	10.3	21	武蔵村山市
24	122,287	26.5	40.7	14.1	22	多摩市
4	88,259	20.9	33.7	12.8	23	稲城市
27	41,111	24.1	38.4	14.4	24	羽村市
22	67,970	28.1	38.8	10.8	25	あきる野市
6	197,600	23.3	34.3	11.0	26	西東京市
25	26,822	26.2	39.6	13.4	27	瑞穂町
20	15,364	36.2	37.6	1.4	28	日の出町
29	830	47.1	64.9	17.9	29	檜原村
30	1,739	48.2	62.0	13.8	30	奥多摩町
	3,887,868	24.2	35.2	11.0		
	9,702,134	22.0	28.9	6.9		23区計
	16,681	22.0	25.9	3.9		島しょ計
	13,606,683	22.7	30.7	8.0		東京都計
	106,421,185	26.6	36.8	10.2		全国